



## 平成27年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 長谷川香料株式会社

コード番号 4958 URL <http://www.t-hasegawa.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼社長執行役員

(氏名) 近藤 隆彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼副社長執行役員

(氏名) 海野 隆雄

TEL 03-3241-1151

四半期報告書提出予定日 平成27年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年9月期第3四半期の連結業績(平成26年10月1日～平成27年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第3四半期	34,402	2.3	3,226	△13.9	3,718	△7.2	2,248	△14.1
26年9月期第3四半期	33,643	1.4	3,748	△8.8	4,005	△19.3	2,616	△6.1

(注) 包括利益 27年9月期第3四半期 7,028百万円 (80.8%) 26年9月期第3四半期 3,888百万円 (△43.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年9月期第3四半期	54.15	—
26年9月期第3四半期	63.01	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第3四半期	100,013	78.6	78,613	78.6		
26年9月期	91,946	79.2	72,796	79.2		

(参考) 自己資本 27年9月期第3四半期 78,613百万円 26年9月期 72,796百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年9月期	—	15.00	—	15.00	30.00
27年9月期	—	15.00	—	—	—
27年9月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年9月期の連結業績予想(平成26年10月1日～平成27年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,350	5.4	5,030	14.8	5,250	6.3	3,510	8.4	84.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年9月期3Q	42,708,154 株	26年9月期	42,708,154 株
② 期末自己株式数	1,181,069 株	26年9月期	1,180,479 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	41,527,363 株	26年9月期3Q	41,528,011 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、日本銀行の金融政策や政府の経済対策を背景に雇用情勢や企業収益等に改善がみられ、景気は緩やかな回復基調にありました。一方、消費税率引き上げ後の個人消費低迷の長期化や海外経済の動向等、景気を下押しするリスクが存在し、先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

香料業界は、国内市場の成熟化、同業者間での競争激化、品質保証に関する要求増加など依然として厳しい状況にありました。

このような環境の中で、当社グループは製品の品質管理と安全性の確保を第一に、研究・技術開発力の一層の向上に努め、当社独自の高品質・高付加価値製品の開発に注力してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高は34,402百万円（前年同期比2.3%増）と増収となりました。

部門別に見ますと、食品部門は、フルーツ加工品等の売上が減少したものの、長谷川香料（上海）有限公司の同部門の売上が増加したこと及び新たに連結子会社となったPeresscol Sdn. Bhd.の売上が寄与したこと等を主因に前年同期比2.6%増加し、29,830百万円（製品：売上高28,080百万円、前年同期比2.3%増 商品：売上高1,749百万円、前年同期比6.4%増）となりました。

フレグランス部門は、ハウスホールド製品向けの売上が減少したものの、長谷川香料（上海）有限公司の同部門の売上が増加したこと等を主因にほぼ前年同期並み（前年同期比0.3%増）の4,571百万円（製品：売上高4,218百万円、前年同期比1.0%増 商品：売上高353百万円、前年同期比7.7%減）となりました。

利益につきましては、営業利益は、売上増により売上総利益は増加したものの、販売費及び一般管理費の増加を主因に前年同期に比べ522百万円（13.9%）減少し、3,226百万円となりました。経常利益は営業利益の減少を主因に前年同期に比べ286百万円（7.2%）減少し、3,718百万円となりました。この結果、四半期純利益は前年同期に比べ368百万円（14.1%）減少し、2,248百万円となりました。

また、海外連結子会社の売上高は、長谷川香料（上海）有限公司が前年同期比20.0%の増収（現地通貨ベースでは同4.5%の増収）、T. HASEGAWA U. S. A., INC. が前年同期比10.2%の増収（現地通貨ベースでは同5.2%の減収）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (流動資産)

前連結会計年度末に比べ、受取手形及び売掛金が788百万円、商品及び製品が330百万円、原材料及び貯蔵品が630百万円それぞれ増加した一方で、現金及び預金302百万円、有価証券が2,500百万円それぞれ減少しました。これらを主因に、流動資産は前連結会計年度末に比べ1,004百万円減少し、46,905百万円となりました。

#### (固定資産)

有形固定資産は、Peresscol Sdn. Bhd.の全株式を取得し、連結の範囲に含めたこと及び長谷川香料（蘇州）有限公司における新工場への設備投資などにより、前連結会計年度末に比べ1,913百万円増加し、32,668百万円となりました。

無形固定資産は、Peresscol Sdn. Bhd.の全株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、のれんが1,630百万円、その他に含まれる借地権が887百万円、それぞれ純額で増加するなどした結果、前連結会計年度末に比べ2,545百万円増加し、2,972百万円となりました。

投資その他の資産は、株価の上昇により投資有価証券が増加したことを主因に、前連結会計年度末に比べ4,613百万円増加し、17,466百万円となりました。

#### (流動負債)

前連結会計年度末に比べ、賞与引当金が612百万円減少した一方で、支払手形及び買掛金が745百万円、未払法人税等が233百万円それぞれ増加しました。これらを主因として、流動負債は前連結会計年度末に比べ524百万円増加し、10,895百万円となりました。

#### (固定負債)

前連結会計年度末に比べ、株価が上昇したことなどを主因として繰延税金負債が1,591百万円増加しました。この結果、固定負債は前連結会計年度末に比べ1,725百万円増加し、10,504百万円となりました。

#### (純資産の部)

前連結会計年度末に比べ、利益剰余金が938百万円、その他有価証券評価差額金が3,353百万円及び為替換算調整勘定が1,412百万円それぞれ増加しました。これらを主因として、純資産合計は前連結会計年度末に比べ5,816百万円増加し、78,613百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年11月7日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。なお、第1四半期連結会計期間において、Peresscol Sdn. Bhd.（所在地：マレーシアクアラ Lumpur）の全株式を取得し、連結の範囲に含めております。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## （税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

## （退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法についても、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間ごとに設定された複数の割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が99百万円増加し、利益剰余金が64百万円減少しております。なお、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

## （従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱いの適用）

「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第30号 平成27年3月26日）を第1四半期連結会計期間より適用しております。なお、適用初年度の期首より前に締結された信託契約に係る会計処理については、同実務対応報告の方法によらず、従来採用していた方法を継続しております。

## (4) 追加情報

## （法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正）

「所得税法等の一部を改正する法律」（平成27年法律第9号）及び「地方税法等の一部を改正する法律」（平成27年法律第2号）が平成27年3月31日に公布され、平成27年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率等の引下げ等が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は、従来の35.4%から平成27年10月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異については32.9%に、平成28年10月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異については32.1%になります。

この税率変更により、繰延税金資産の金額が272百万円、繰延税金負債の金額が456百万円それぞれ減少するとともに、法人税等が233百万円、その他有価証券評価差額金が431百万円それぞれ増加し、退職給付に係る調整累計額が15百万円減少しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,409	10,106
受取手形及び売掛金	14,917	15,705
有価証券	10,499	7,998
商品及び製品	5,954	6,285
仕掛品	166	207
原材料及び貯蔵品	4,511	5,142
その他	1,455	1,464
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	47,909	46,905
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	15,242	17,556
その他(純額)	15,513	15,112
有形固定資産合計	30,755	32,668
無形固定資産		
のれん	-	1,630
その他	427	1,342
無形固定資産合計	427	2,972
投資その他の資産		
投資有価証券	11,982	16,489
その他	924	1,037
貸倒引当金	△54	△59
投資その他の資産合計	12,853	17,466
固定資産合計	44,036	53,108
資産合計	91,946	100,013
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,617	6,362
1年内返済予定の長期借入金	170	111
未払法人税等	358	592
賞与引当金	1,000	387
役員賞与引当金	41	-
資産除去債務	-	4
その他	3,182	3,436
流動負債合計	10,370	10,895
固定負債		
長期借入金	-	181
繰延税金負債	1,037	2,629
退職給付に係る負債	6,329	6,450
役員退職慰労引当金	1,220	1,057
資産除去債務	147	146
その他	43	39
固定負債合計	8,778	10,504
負債合計	19,149	21,399

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,364	5,364
資本剰余金	6,700	6,700
利益剰余金	55,440	56,379
自己株式	△1,480	△1,382
株主資本合計	66,025	67,062
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,631	8,985
為替換算調整勘定	1,461	2,874
退職給付に係る調整累計額	△322	△308
その他の包括利益累計額合計	6,771	11,551
純資産合計	72,796	78,613
負債純資産合計	91,946	100,013

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)
売上高	33,643	34,402
売上原価	21,057	21,696
売上総利益	12,585	12,706
販売費及び一般管理費	8,837	9,479
営業利益	3,748	3,226
営業外収益		
受取利息	42	43
受取配当金	124	129
為替差益	42	257
その他	83	103
営業外収益合計	293	533
営業外費用		
支払利息	1	7
設備賃貸費用	30	29
その他	5	3
営業外費用合計	36	40
経常利益	4,005	3,718
特別利益		
投資有価証券売却益	19	-
特別利益合計	19	-
特別損失		
固定資産廃棄損	76	77
投資有価証券評価損	-	12
減損損失	-	51
特別損失合計	76	140
税金等調整前四半期純利益	3,948	3,578
法人税等	1,331	1,329
少数株主損益調整前四半期純利益	2,616	2,248
四半期純利益	2,616	2,248



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成26年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成27年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,616	2,248
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,037	3,353
為替換算調整勘定	233	1,412
退職給付に係る調整額	-	13
その他の包括利益合計	1,271	4,779
四半期包括利益	3,888	7,028
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,888	7,028

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。